

北のプラチナシティ“あさひかわ”を目指して  
— 誰もが多様な生きがいを見つける積雪寒冷都市 —

都市生活のハブ(つながり, 認め合い, 生きがいの実現)

まちなか定住人口の増加

交流人口(滞在者)の増加

食品製造出荷額の増加

「健康」のハブ機能

「食」のハブ機能

積雪寒冷地に築いた都市基盤を磨き上げ人々の活力に

自然の営み, 大地の恵みを人々の活力に

◆まちなかプラチナベースの整備  
(高齢者の心の健康づくり)  
(まちなか居住の更なる促進)

◆(仮称)SORAの駅  
食の一大バザールの整備

○積雪寒冷地型スマート  
ハウスの整備

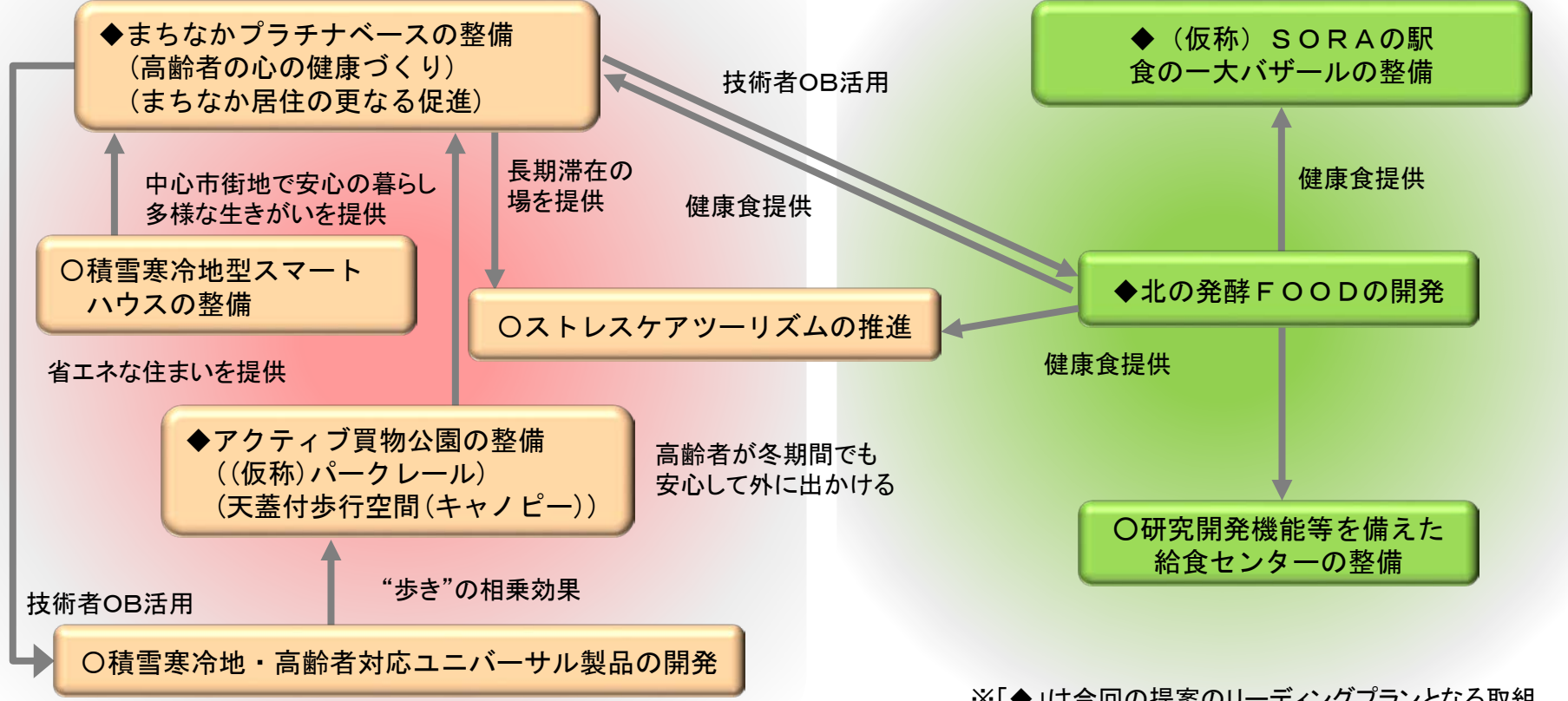
○ストレスケアツールの推進

◆北の発酵FOODの開発

◆アクティブ買物公園の整備  
(仮称)パークレール  
(天蓋付歩行空間(キャノピー))

○研究開発機能等を備えた  
給食センターの整備

○積雪寒冷地・高齢者対応ユニバーサル製品の開発



※「◆」は今回の提案のリーディングプランとなる取組